

2020年度

島根大学大学院医学系研究科

看護学専攻（博士前期課程）入学者選抜

（第3次募集）

試験問題

専門領域問題（看護援助学コース）

専門領域問題（看護管理学コース）

専門領域問題（母子看護学コース）

専門領域問題（がん・成人看護学コース）

（60分間）

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は表紙を含めて6枚です。
- 3 志望するコースの問題について解答してください。
- 4 問題紙は持ち帰ってください。

看護援助学コース

問題 表1は救急部で勤務する看護師の救急経験年数別にみた臨床判断の実施得点です。表2は救急医療体制別にみた臨床判断の実施得点です。以下の問1、問2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(江口秀子・明石恵子：救急部で勤務する看護師の臨床判断の実態および救急経験年数と所属施設の救急医療体制との関連，日本クリティカルケア看護学会誌，13(3)，49-60，2017より抜粋し、一部改変)

- 問1 表1および表2から読み取れる、救急部に勤務する看護師の臨床判断の特徴について述べなさい。
- 問2 救急部に勤務する看護師の臨床判断能力の実態を踏まえた支援のありようについて、あなたの考えを述べなさい。

看護管理学コース

問題 表1、表2は看護師の配置転換後のストレス要因と配置転換先の適応要因について、36件の文献中の記述内容をカテゴリ化した結果を示したものです。
以下の問1、問2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(「境真由美, 他: 配置転換による看護師のストレスと適応に関する文献検討, 熊本大学医学部保健学科紀要, 7: 63-70, 2011」より改変して引用)

問1. 表1、表2から読み取れることを述べなさい。

問2. 問1を踏まえ、配置転換後の看護師に対する支援について、あなたの考えを述べなさい。

母子看護学コース

問題 次の文章と二つの図を読み、次頁の問1、問2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(小児保健研究 75巻第5号 2016年 533ページから引用、一部改変)

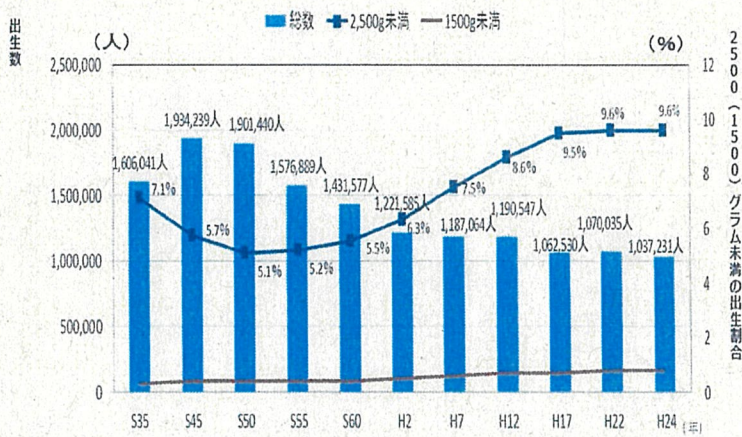


図1：全出生数と低出生体重児出生数の年次推移

(厚生労働省 健やか親子21 最終評価参考資料集 スライド21より引用)

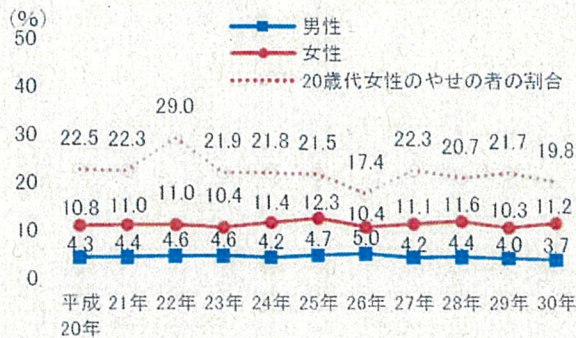


図2：やせている人 (BMI<18.5以下) の割合の年次推移

(厚生労働省 平成30年国民健康栄養調査結果の概要 p12 図5-1より引用)

問1

図1と図2から読み取れることを簡潔に述べなさい。

問2

本文で述べられているメタボリックシンドロームなどの疾患の発症と、図1と図2から読み取れることとの因果関係を推測して述べなさい。

また、これら疾患の発症を予防する対策について因果関係に基づいて述べなさい。

問題 我が国の第3期がん対策推進基本計画では、全体目標として「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す」ことが示され、分野別施策の一つに「がんとの共生」が挙げられました。これを踏まえて、以下の問1と問2に答えなさい。

問1. がん治療において患者の主体的な治療参加を促進するためには、どのような看護が必要か述べなさい。

問2. キュアとケアを統合したがん看護の実践に向けて、がん患者に対する緩和ケアの重要性について説明しなさい。